

きそがわ福祉会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして

2023年5月20日発行 No.124



たくさん咲いたよ「あいがとうの花」
～第二きそがわ作業所～

詳細は第二きそがわ作業所ページのウキウキグループ (P.10)

発行：社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12番地3

電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937



法人合併のお知らせ…きそがわ福祉会とたけのこ福祉会…

社会福祉法人きそがわ福祉会と社会福祉法人たけのこ福祉会は、令和5年3月23日に愛知県より認可を受け、令和5年7月1日より合併をすることとなりましたので、ご報告させていただきます。合併後の法人名は「社会福祉法人きそがわ福祉会」です。

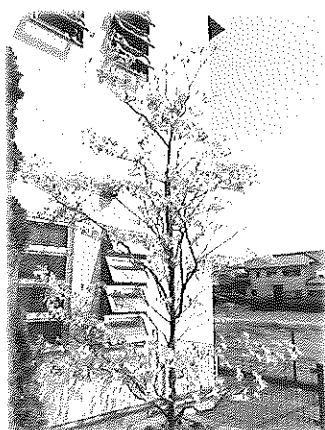
合併後の定款では、主たる事務所の所在地が愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12番地3、従たる事務所の所在地は、愛知県江南市松竹町切野94番地となりました。

今回の法人合併については、主に以下の3点で両法人が合意をして諸準備を進めてきました。

- ①合併により、両法人における人事の交流による助け合いと活性化、人材の育成、研修の交流による活性化をめざすことが、両法人の発展につながると考えてきました。
- ②合併を機に、両法人の歴史、理念に学び、実践・運動・経営面の全般において相互に活性化することをめざすことが、両法人の発展につながると考えてきました。
- ③合併を機に、複数の自治体(市町村)に関与することにより、市町村、愛知県全体の障害福祉諸制度情報の把握をしつつ、制度の活用と改善を推進していき活性化することをめざすことが、両法人の発展につながると考えてきました。

この合併により、これまで培ってきた両法人の経験や人材、それぞれの事業所の強みを活かして、これまで以上に安定した事業活動を推進して参ります。これからもよろしくお願い申し上げます。

例年6月にきそがわ福祉会の行事として開催しています、ほのぼのまつりですが、令和5年度も、昨今の新型コロナウイルス感染症が決して収束していません。関係者の健康・安全を第一に考慮した結果、残念ながら開催を中止とさせていただきます。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。



…ほのぼのまつり開催中止のお知らせ…

職員オリエンテーション・学習交流会開催

3月17日に、4月より入職の新卒採用の方と社会人採用の方のオリエンテーション、3月20日には、7月に合併する社会福祉法人たけのこ福祉会の職員の方々との学習交流会を、多機能センターぼぶりの多目的ホールで開催しました。

この取り組みでは、入職時の事務手続きや法人の諸規程、法人基本理念や歴史、組織図等法人の概要をグループ別交流も交えながら学びました。後半は法人内事業所の見学、接遇に関する学習等も行い、福祉施設職員としての構え方と共に、きそがわ福祉会の職員として今後、大きくはばたいていただくための大切な一日となりました。

※たけのこ福祉会職員さんには、比較的新しい方と共に豊富な経験のあるベテラン職員さんもおられます。きそがわ福祉会の職員と共に持ち味を活かし、それぞれの文化が融合した形で新しい歴史を築いて参りたいと思います。引き続きのご支援の程宜しくお願い申し上げます。

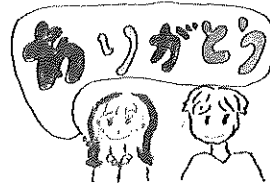


▼ 現在の全額総額
1,891,000円

目標金額は 1,900,000円

▲ 全応募数
223人

① 募集終了まで残り
終了



▲ 仲間のお手紙が届きます

クラウドファンディング

ご協力ありがとうございます

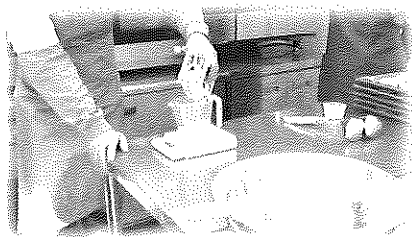
ございました

昨年度に引き続き、クラウドファンディングに取り組みました。これまでの協力者の方々からの温かいご支援と共に、新たな協力者の方々との輪が広がり、貴重な繋がりが出来ました。

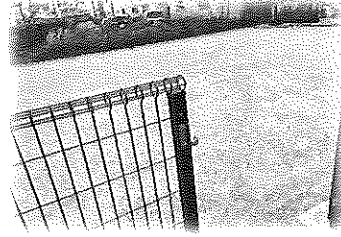
今回の取り組みは児童発達支援センターの園庭整備を前面に押し出しつつも、法人全体の課題として往還南多機能センターにおける地域生活支援拠点の一翼を担う構想の具体化を目指す事も位置付けて取り組みました。

ご協力頂いた皆様への返礼品として、仲間の授産製品を位置づけるとともに、寄付金額の設定を 1,000 円からとしたことで、より多くのご支援をいただくことになりました。

4 月からは、ショートステイなどいろの地域生活支援拠点への登録も実現する事ができました。今後とも、往還南拠点へのご支援よろしくお願い致します。



▲ お礼のお菓子づくり、がんばってます



▲ 整地の終わった状態の園庭

◆ 一八九万円達成
◆ 総支援者数は
二二三名到達



春を感じるお花たちがお出迎え

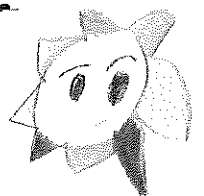
夢うさぎの花壇では、にんじんの葉が♪ふさふさそよそよ♪と、マーガレットの花びらが♪太陽に向かって♪と、春の便りを感じさせてくれています。蝶々もひらひらと寄ってきています。玄関では手作りの水槽にきれいなメダカが気持ちよさそうに泳いでいます。

こんにちは！
相談支援センター

夢うさぎです



♪ふさふさのにんじんの葉♪



夢うさぎの従たる事業所の
相談支援センターつながり

同一建物内で

事務所等移動

(4月1日)

児童発達支援センターまいるの森の増築増員事業の完了により、同一建物で、まいるの森と連携して運営をしている「相談支援センターつながり」の事務所は、4月より増築部分に移動しました。玄関も今までより少し東側に移動しています。

引き続き、お気軽にお立ち寄りくださいませ。

児童発達支援センター まーぶるの森 増築増員事業が完了しました

2022年度の国・県施設整備費補助金の交付を受け、児童発達支援センターの増築増員事業が完了しました。2023年4月より10名の定員増を行い新年度がスタートしました。

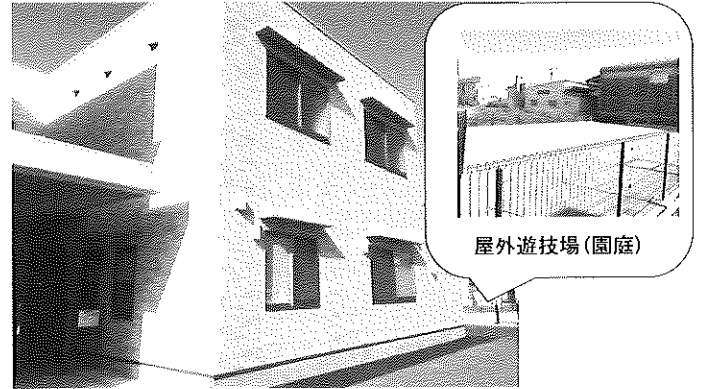
(児童発達支援センターの定員10名→20名に変更、放課後等デイサービスは従来通り10名)

＜国・県補助対象施設整備に関する収支＞

収入		支出	
補助金	国:18,600,000円 県: 9,300,000円 計:27,900,000円	建築工事費	63,700,000円
自己資金	365,000円	設計管理費	4,565,000円
借入金	40,000,000円		
合計	68,265,000円	合計	68,265,000円

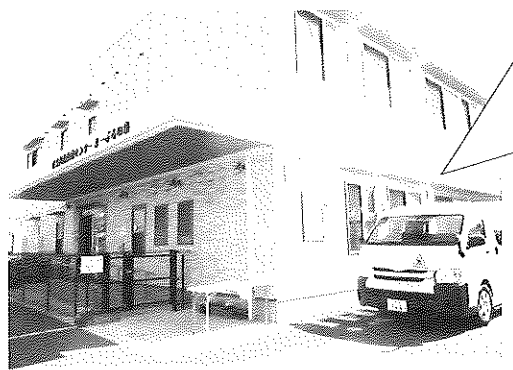
＜屋外遊技場等その他の整備に関する収支＞

収入		支出	
自己資金 (クラウドファンディング 等寄付金含む)	3,190,000円	その他整備費	3,190,000円



屋外遊技場(園庭)

↑↓今回増築した新しい建物 ↗ 建物東側に屋外遊技場を整備



これまでの既存建物【本館】では
児童発達支援「ばーむ」
放課後等デイサービス「すだち」
療育相談
保育所等訪問支援事業を運営



増築した新しい建物【新館】では
児童発達支援「りーふ」を運営
相談支援センターつながりも
同建物に併設

増築増員後2023年度からの 児童発達支援センターまーぶるの森 事業概要

児童発達支援事業

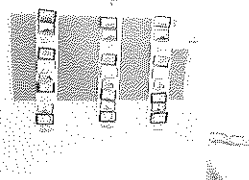
…増築事業完了にともない、定員10名→20名に増員し、2つの活動グループを運営します

通園部門「ばーむ」【既存建物(本館)にて実施】

…身辺自立の獲得に重きを置くグループ

- ▶9:30～15:30の1日利用
- ▶月～金の週5日利用
- ▶保育園に所属しながら、週に2～3日利用も可

個別のスケジュールで活動

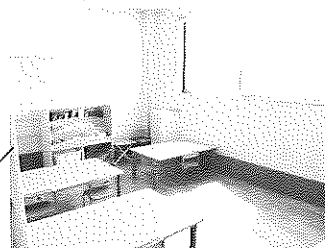


スポット部門「りーふ」【増築した新しい建物(新館)にて実施】

…コミュニケーションや社会性の育みに重きを置くグループ

- ▶保育園や幼稚園に所属し、週に1～2日利用
- ▶AMとPM2つのクラス
- ▶1クラス6～7名程度

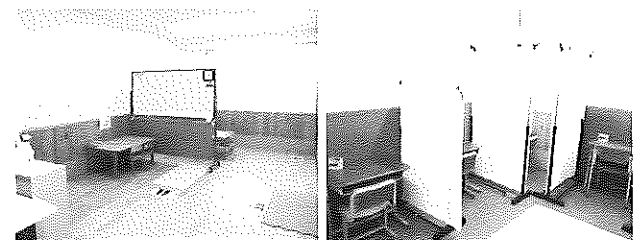
この部屋を中心に活動し、エリアで1対1の対応を行います



放課後等デイサービス事業「すだち」

【既存建物(本館)にて実施】

▶増築事業完了にともない、これまでの児童発達支援事業との共有空間から専用空間へ活動スペースが広がりました



↑これまでより広い部屋に

↑宿題専用エリア

療育相談【既存建物(本館)にて実施】

- ▶地域の多様な障害児、及び家族に対し、発達支援に関する入口の相談を行います。
- ▶木曽川、北方、奥、今伊勢、葉栗地区を担当しています。

保育所等訪問支援事業【既存建物(本館)にて実施】

- ▶保育所・幼稚園や学校、放課後児童クラブ、児童養護施設等に訪問し、児童に対し集団生活への適応のための支援や、訪問先のスタッフに対し支援、助言を行います。

増築増員事業の実現と共に

新しいグループ編成！

…「ばーむ」と「りーふ」…

まーぶるの森の児童発達支援事業が始まって令和5年7月で、はや、丸3年が経とうとしています。

これまで児童発達支援を利用していただいていたお子さん達は保育園や幼稚園などに所属し、週に1回半日を利用していただいていた。

しかし、お子さんの発達状況によっては療育の時間が少なく、排泄や着脱などの身辺自立が想定したように育まれていき難いお子さんや、身辺自立に重きを置いた活動が必要なお子さんの、この地域の受け皿の少なさがありませんでした。こうした地域課題に対応することも含めて、増築増員事業が進み、4月から児童発達支援センターの定員が10名から20名になりました。

その過程では、施設整備のための設計内容についての話し合いや、自主財源づくりの検討、増員後の実践内容や基礎集団編成等について、毎月の職員会議等で話し合いを進めて行き、4月から、身辺自立の獲得に重きを置いたグループ「ばーむ」、コミュニケーションや社会性の育みに重きを置いたグループ「りーふ」と、児童発達支援のグループを二つに分けて実施することになりました。

管理者交代のお知らせ

開所時より、今年3月末まで、まーぶるの森管理者は、常務理事の大池周広が相談支援センター夢うさぎも含めた兼務で務めてまいりましたが、4月より、鷲尾廉仁が専任の管理者として務めることになりました。引き続き、ご支援を賜りますようお願い致します。



まーぶるの森職員の通称

障害児通所支援事業まーぶるの森では、指定基準に基づき配置された各職員の通称を以下のように用いています。

- ◆管理者⇒園長
- ◆児童発達支援管理責任者⇒先生
- ◆保育士、児童指導員等の直接処遇職⇒先生
- ◆心理士(心理師)⇒先生

児童発達支援センター

開所以来初めての入園式

「ばーむ」では、お子さんによっては月々金曜の5日間通う子もいます。そのため、4月3日(月)にまーぶるの森開所以来初めての入園式を行いました。当日は天気にも恵まれ、朝からさわやかな日差しが感じられる中、どのお子さんも少し緊張した面持ちで、式に参加していました。

式では、先生達の紹介や常務理事に続き園長からの話などがありました。どのお子さんも最後まで会場内で過ごしてくれました。最後に一人ずつ名前を呼ばれてシールを貼る場面では、緊張して顔がこわばるお子さんや笑顔で応じるお子さんなど、それぞれの性格が表れる場面でした。

また、ばーむのスタートに合わせて、地域の幼稚園などで使用されている送迎バスを、民間助成金(芳心会様助成金を申請して購入し、お子さんの自宅まで送り迎えをしています。

誰もが穏やかに過ごせる地域社会目指して

まーぶるの森の4年目は新たな活動グループが加わり、これまで以上に様々な発達状況のお子さんを支援させていただく児童発達支援センターになります。

そのため、これまで以上に利用していただくお子さんや保護者様、地域の関係機関様と共に、この地域で生まれた誰もが、日々穏やかに過ごせる地域社会を目指していきたいと考えています。引き続きのご支援、協力共同を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

▼入園式前、会場の様子





玉の井ホーム



春の休日の ”おやつづくり”

玉の井ホームでは、4月の休日に仲間のみんなで、綿菓子のおやつ作りをしました。春をイメージして“サクラ色”の綿菓子にも挑戦しました。

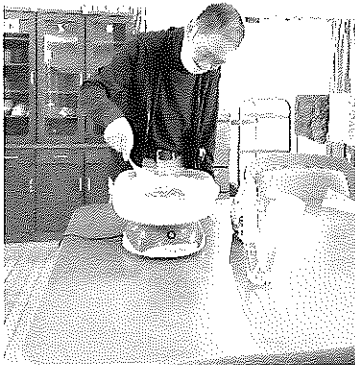
最初は綿菓子を大きく、きれいに作るのが、なかなか難しくきれいな形にならなかったのですが、だんだん慣れてくると、皆さん器用な手つきで職人技のように作っていました。作っている姿はとても楽しそうで、他の仲間の分も積極的に協力して作ってくれました。

色付きの綿菓子にも挑戦しましたが、残念なことにアメ玉が綿菓子機に対応したのではなく、サクラ色の綿菓子を期待して待っていたのですが春色は出てきませんでした。少々残念ではありましたが、次に綿菓子をする際はみんなで、色鮮やかな綿菓子里にチャレンジしようと思います。

美味しく頂きました



大きい綿菓子作るぞ!!



ぬくもりホーム

長年の夢 ”生まれ故郷の長崎へ”

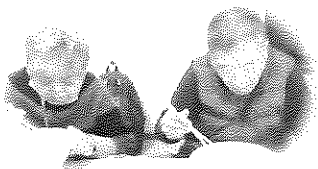
ぬくもりホームの利用者である姉弟のお二人の長年の夢が“生まれ故郷の長崎五島列島へ旅行すること”でした。

昨年度コロナの落ち着いたタイミングでなんとか実現したいと支援計画にも位置づけ、お二人とともに旅行の計画を進めてきました。職員としおりを作ったり、旅行用の洋服を買ったり、おやつを買ったり…と準備をするのも楽しみでワクワクでした。コロナが落ち着いた10月末にホーム職員1名が同行し2泊3日の少しハードな日程ではありましたが実現することができました。

ジェットfoilで生まれ故郷の五島列島を訪れ、五島列島の景色や長崎のきれいな街並み夜景を見て、おいしい食事を食べるプランでした。無事に旅行を終えてホームへ帰ってきた時の疲れながらも満足したお二人の表情は忘れることができません。

旅行から戻ってきて写真をみながらまた旅行の思い出を話したり、次にやりたい事を職員と話したり…とまた夢がふくらみます。

お二人の場合は今回実現することができました。ホームですぐに出来ること、できないことはありませんが、ホームの利用者の一人ひとりのやりたい事を少しでも実現できる事業所でありたいとあらためて思いました。



一年の振り返り＆お花見！

2F

3月30日、職員が作成した映像を見ながら一年の振り返りを行いました。過去の取り組みをまとめた映像を見て「懐かしいね」と笑い合いながら、振り返ることができました。また31日には、光明寺公園でお花見を行いました。それぞれのグループに分かれて美味しい三色団子を食べながら、ゆつたりとお花見を楽しみました。「桜すごく綺麗だね！」と言いつつ、ワクワクした様子で走る仲間もいて、大満足の半日でした。

桜と一緒に
写真撮ったよ！



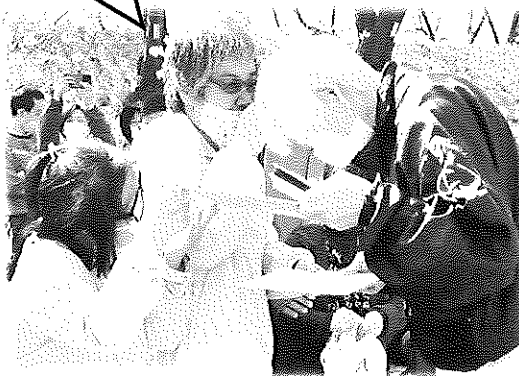
桜すごく綺麗だったな～！

桜の下でお別れ会

3F

3月30日、光明寺公園へお花見に行きました。満開の桜の下で定年退職される職員のお別れ会をしました。仲間のみんなと書いた色紙やアルバムを手渡し、一緒に写真を撮り別れを惜しましました。

長い間、
お疲れさまでした！



みんなでお話しながら散歩もしたよ！



ゆうゆう アクア・トトぎふ見学！



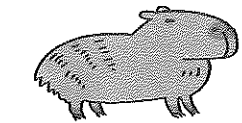
3月24日、アクア・トトに行きました。約一年ぶりのアクア・トトで仲間も職員もウキウキした気持ちでの見学でした。水槽に顔を近づけて興味深く眺めていたり、水の中にいるような不思議な空間を感じている仲間の様子はとても印象的でした。



どこにいるかなあ…。
あ！いた！！



コロナ禍でお出かけ企画の制限がまだまだありますが、仲間の経験を広げられるような活動を進めたいと思います。



また
みんなで行きたいな



生活介護

ボーナスが支給されました

わかばドリーム作業所では、年度末となる3月31日にボーナスが支給されました。管理者から一人一人に、いつもの給料袋とは違った特別な封筒とお菓子のセットが手渡されました。「ヤッター」と喜び仲間、封筒やお菓子の中身が気になる仲間など、様々な様子が伺えました。

昨年度は多くのお仕事を頂く事ができ、仲間が一人となって作業に取り組んできました。ボーナスの支給を機に、頑張ってお仕事をする意味を学べた事と思います。これも日頃よりご理解とご協力を頂いている業者様のおかげと、心よりお礼申し上げます。

その後は全員でテザートを頂き、一年の締めをしました。全員が笑顔で無事一年を過ごせたことに感謝すると共に、今年度も気持ちを新たにわかばドリームの仲間全員で頑張ります。



一年がんばったよ。
おいしいな



うれしいな



Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream Wakaba dream

就労B

SDGsのお勉強

河川環境楽園自然発見館でネイチャーイベントに参加してきました。選んだプログラムは「川原のゴミから考えるSDGs」です。実際に堤防に行きどんなゴミが落ちているのかワークシートに記入しながら探しました。見つけたゴミの種類から「ペットボトルのゴミが多いなあ」「ゴミを食べた動物はどうなってしまう？」など新たな学びがありました。



午後からは、アクア・トトぎふで川で暮らす生き物を見ってきました！



就労Bも年度末にボーナスが支給されました!! 「なにを買おうかなあ」と嬉しそうに封筒を見つめる姿がとても印象的でした。



「ふたばのお花見」 ふたばドリーム作業所

毎年恒例のお花見は、4月の第一土曜日に決定しました。日頃はお仕事ばかりなので運動と息抜きを兼ねてと計画をしましたが仲間たちには、発表前から「花見でしょう！」と予定がバレてしまっていました。今年は咲き始めが早く予定の日には散ってしまっているかも・・・と心配しましたが、天気良し、適度な風で桜吹雪の舞う中の最高の花見になりました。

花見と言えば団子。と、いうことでご褒美を携えての出発です。綺麗な桜をバックに自撮りする人や家族に見せてあげるために写真を撮る人がいました。咲いている可愛いタンポポを集めたり、団子のご褒美を楽しむに歩く人など、各々の楽しみ方で桜を満喫しました。桜を見ながらの団子はやっぱり「美味しい！」ですね。

今年も一年お仕事を頑張りながら、取り組み等の楽しみもみんなで満喫したいと思います。



桜の下で
ハイチーず♪



花より団子！



団子美味しかった！

「一年間の振り返り」 黒田ドリーム作業所

三月末日、また新たな年度を迎えるにあたり、黒田ドリームでは一年間の振り返りをしました。

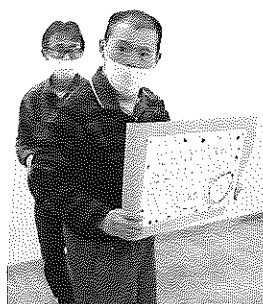
まず初めに、一年間の全体行事や活動の写真を、プロジェクターで振り返りました。全体行事は毎月二回ありました。たくさんの思い出を写真で思い起こしました。

次に、一年間の成果を生活グループ毎に発表しました。お仕事を頑張ったグループは、一年間に納品した商品の総数をクイズで発表をしました。創作を頑張ったグループは一年間の総まとめを大きな新聞に作りあげました。できることが個人として増えたグループは頑張っている姿を動画にしました。皆さんの一年間の努力が形となって見えました。

最後に、表彰式をしました。職員が一人ひとりに、どのような賞がふさわしいのかを考えて賞状を作成しました。賞状を受け取り、皆さんとても嬉しそうでした。笑顔で新年度を迎えることができました。



がんばったよ



うれしいな



ウキウキ

つながる種

ウキウキグループでは昨年の4月から今年の3月までつながる種という取り組みを行ってきました。仲間のいいところや頑張っている姿を、たんぼぼの綿毛を模した丸い紙に書き、大きな紙に張り付けていきます。毎週金曜日は、つながる種の発表の日で書いてもらった仲間は照れたり喜んだりと反応は様々です。つながる種によって「ありがとう」と素直な気持ちを言葉にできたり、優しく接することができるようになったりと、仲間同士の交流も深まったように感じられます。一年間で綿毛をたんぼぼに変えていき、最終的にはたくさんの花を咲かせることができました。仲間の成長が感じられた良い取り組みとなりました。

ありがとうの気持ち



いっぱい貼ったよ♪



ハッピーサン

年度末のお疲れ様会

ハッピーサンみんなで、年度末のお疲れ様会を行いました。今年一年、色々な事を思い出し、振り返りながらみんなで楽しくお話しをしつつ、五平餅を作り、和スイーツを食べながら茶話会をしました。コロナの影響で出来ない事が多かったけど、みんな揃って健康にお疲れ様会が出来て良かったです。また、最後に美味しい和スイーツが食べれて、両方の幸せを感じるハッピーサン一回でした。

おいしい!



上手にできた!



ドリームライナー

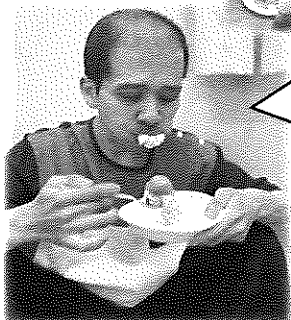
誕生日会&年度末会

ドリームライナーでは、誕生日会と年度末会を合わせて行いました。まずは誕生日会でドミノゲームをしました。倒れないように慎重に並べていきみんなが楽しみました。ドミノのあとは2月、3月が誕生日の方をみんなで祝いしました。次に年度末会でたこ焼き機を使ってアメリカンドックを作りました。丸く綺麗に焼けるように頑張りました。一口サイズのアメリカンドックは食べやすく、とても美味しかったので、みんなでかわりをしていました。最後にデザートでフレンチトーストを食べました。美味しいものが沢山食べることが出来てとても楽しそうでした。今年度も仲間が良い一年を送れるように取り組んでいきたいと思っています。

上手に焼けるかな?



こりゃあうまい!





清須城へお花見



北方あすなろ作業所



桜満開、ときどき桜吹雪の3月31日に生活介護「ヒマワリ」では桜の名所、清須城へお花見に行きました。春うららの午後の清須城には出店も出ていたり、大道芸に目をひかれたりと春の到来を感じさせるひとときでした。

花見に出かけた仲間は「桜満開できれいだった!」、「松潤のポスターも貼ってあってかっこよかった!」、「外で飲むジュースは美味しかった」、「また行きたい!」と声を弾ませて話してくれました。

ハイ、チーズ!



奥町公園へピクニック



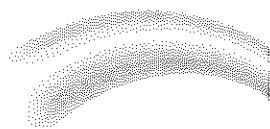
就労Bは新型コロナウイルスで一時的に中断していた取り組みを再開。

まずは外食の取り組みで、お弁当屋さんで好きなお弁当を注文。

この日は天気も良く、春の晴れた日に暖かな日差しを感じながら奥町公園でお弁当を食べました。「外で食べるお弁当はおいしかった!」、「コーヒーもおいしかった!」と弾んだ声が仲間たちから聞かれました。青葉の季節は外も気持ちがいいですね。



お弁当、最高!



なないろ作業所へようこそ!

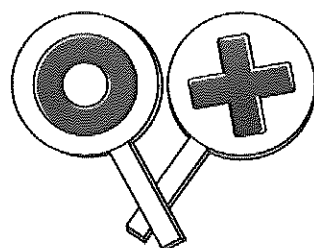
なないろ作業所

なないろ作業所では、新たに4名の仲間が入所され、新年度を迎えました。皆、学校を卒業したばかりの元気な方ばかりです。なないろ作業所では、年齢の近い先輩たちがたくさんいますので、困ったときは頼ってくださいね。4月11日には新しい仲間たちの歓迎会を開催しました。本人さんたちにまつわるクイズの出題があったり、みんなでおやつを食べたりして、楽しい時間を過ごしました。



お仕事がんばるぞ!

一緒に頑張ろうね!



❖一般社団法人芳心会様

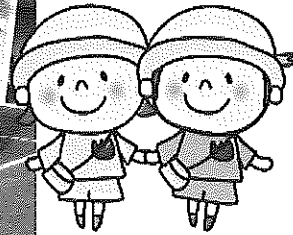
助成金ありがとうございました❖

一般社団法人芳心会様より 80 万円の助成金をいただき、児童発達支援センターまーぶるの森で使用する車両を購入させていただきました。

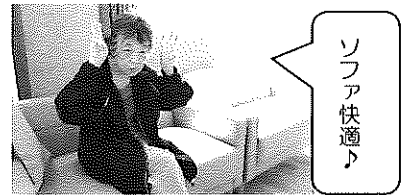
入園式の翌日の 4 月 4 日から車を使用し、当初は緊張した面持ちで乗車するお子さんもいましたが、2 週目に入る頃にはみんな笑顔で乗車してくれています。今後は遠足など様々な行事にも利用するなど、安全運転に心がけ有効的に活用させていただきます。

誠にありがとうございました。

(まーぶるの森)



❖イエローレシートキャンペーン
ありがとうございました❖



イオン木曽川店にて毎月 11 日に開催されている「幸せの黄色いレシートキャンペーン」で、2022 年度は 94,000 円をイオン木曽川店様よりご寄贈いただきました。

イオン様はじめ黄色いレシートを投函してくださった地域の皆様こころより御礼申し上げます。1F フロアで使用するソファやホットプレート、文具など仲間が作業所で快適に過ごせる商品を購入しました。

誠にありがとうございました。

(きそがわ作業所)

ご寄付ありがとうございました

令和 5 年 1 月 16 日～令和 5 年 4 月 15 日(順不同・敬称略)

株式会社葉栗オートショップ 医療法人くずや歯科 日比野千江子 村井温 きそがわ作業所保護者会
ドリームセンター保護者会 きそがわ福祉会を育てる会 伴真 菅野守 渡辺敏雄 大池周広 森幸子
きそがわ福祉会新拠点づくり検討委員会 蛭川温恵 岩田芽 石田和久 堀田吉則 山本昇平 一親房
尾関啓太 箕浦和希 橋村友哉 三門孝光 三門雄二 青山里子 荒井秀彦 廣比光代 西本紀賀子
市原弘子 加納幹訓 長谷素楽 長谷晏楽 長谷淳 誰もが安心できる生活の場づくり検討委員会
大田哲嗣 櫻井雅人 加納優子 入山美枝子 浅野雪香 高島恵美 植田和広 浅井奈津子 丹下まり
大石アイ子 大池泰子 浅野香 葛谷直樹 一木季美枝 佐野純子 櫻木伸 中尾暁造 中山まどか
葛谷恵子 丹菊佳代 小池絢子 堀田昌美 柴田明子 上田利子 下屋登己恵 三門真弓 棚橋紀美子
則竹敬子 今枝幸恵 伊藤容子 吉川愛美 武馬よしの 岩田恵代 森口美恵子 鈴木美樹 垣見知子
大山利加 兼田良子 石神千穂子 栗本隼司 駒瀬美晴 川合啓子 葛谷美智子 大野泰明 西嶋高司
障害者児を守るねっこの会 平沼美枝子 宮地千恵子 吉田直子 市原正美 土川ますみ 藤嶋英治
たけのこ会 舟橋一男 加藤知子 岡崎美佐子 鈴木裕之 水谷夏実 鷲尾廉仁 戸田誠一郎 坂康宏
田辺友恵 塚本順子 棚橋祐季 久野昇 櫻井貴宏 田山弘美 高間淳一 栗本尚弥 赤堀達彦
栗本和代子 山田静恵 宮崎和子 宮崎信洋 宮崎淳子 安藤純好 小田里維子 柳田達也 下屋勝昭
ホーム運営委員会 伊藤尚 水野考稀 佐野恭之 安福俊彦 田中勢子 平山直子 木野節子 犬飼享
市橋真由美 北方あすなろ作業所保護者会 武藤吉博 小林金次 横井武俊 大石高弘 墓越育代
岩越恵美子 池山美和子 池山瑞希 池山杏彩 近藤貴嗣 船渡壮一郎・健太郎 犬塚永子 寺西万実
水野加代子 栗本三枝子 町田直彦 櫻井千栄 坂田雅史 浅野真司 阿部基 栗井陽 吉川悦子
寺西直子 まーぶるの森&つながり職員一同 平倉静香 大西友恵 小野優子 森口三恵子 苅谷裕子 佐々恵子
高田美希 田村真由巳 武鹿つや子 三輪友美子 笹倉みつ江 柏木有里 安達綾子 西田さとみ
野垣元可 光安佐登美 田中和代 倉田正雄 平井利恵 坂井田房江 遠藤孝子 藤本和子 鈴木和子
岩田喆 岩田順子 林和歌子 関村歩美 大池学 梅本早千穂 坂本純子 加藤裕子 林幸子
岡田美佐子 市川京子 野口祐志 橋本昌樹 鈴木祐子 村井雅人
匿名 19 名
磯部裕子・・・バレンタインのお菓子(全ホーム事業所)

皆様からのあたたかいご支援を大切にいたします。ありがとうございました。

